

vol. **35**
2020.8

樹 ~たつき~ TACHIKI

広島県看護協会西支部会員数	
保健師	25人(入会率29%)
助産師	12人(入会率38%)
看護師	1,249人(入会率54%)
准看護師	139人(入会率14%)
合計	1,425人(入会率42%)

CONTENTS ▶ **1**あいさつ/役員紹介 **2** 3事業報告 **4**事業報告/事業計画

令和2年度 西支部あいさつ

GREETING

支部長あいさつ



支部長
奥平 敦子
梶川病院

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか? 新型コロナウイルスに翻弄された新年度を迎えました。4月に開催予定の総会は書面開催となり、企画していた交流会も延期と、担当役員のご苦労には頭が下がります。少しずつ社会生活は再開されますが、感染症に対する新しい生活様式の変更を必要とされ、私達看護職が先頭に立って伝えてゆきたいことです。

今回、学んだ事は「正しい情報を得る」「正しく恐れる」です。佐伯区や三次で発生したクラスターを教訓にして、正確な情報を伝達し対策を練る事が医療現場の使命の一つです。新人教育の共有はできませんでしたが、看護職として今回の対策と教訓を共有しこの危機を次のステップにしましょう。今年度もよろしくお祈りします。

広島県看護協会 広島西支部担当理事あいさつ



担当理事
正国 明美
広島グリーンヒル病院

高齢者を取り巻く環境を整え人生の今をどう生き、最期をどのように迎えるか、地域を巻き込んで病院・施設・事業所等で取り組みが進んでいます。しかし、今年度は当初から新型コロナウイルスの感染拡大で事業の中止や行事・会議の縮小開催と困難なスタートとなりました。医療従事者として何をすべきか熟慮した行動をしなければなりません。広島西支部として地域住民の健康と福祉の向上のため、地域に根ざした積極的な事業の推進を図るため、支部長をはじめ支部役員・施設代表者及び会員の皆様と協力し地域医療の充実、施設間・職種間の連携強化を図り、お互いに支え合いながらこの困難な局面を一丸となって乗り越えていきたいと思ひます。

新役員あいさつ



副支部長 **高橋 直美**
五日市記念病院
若輩者ではありますが、看護協会広島西支部の更なる発展、連携強化に貢献できるよう尽力してまいります。



幹事(財務) **園山 八重子**
広島パークヒル病院
全世界が、新型コロナウイルスに脅かされる日々に新役員として果たすことを学べたらと思ひます。



幹事(教育) **上野 穂泉**
福島生協病院
分からないことは、周りの方に聞きながら精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。



幹事(教育) **西原 鮎子**
西広島リハビリテーション病院
皆様と共に学び、ご指導頂きながら精一杯取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお祈り致します。



左上より 奥平、正国、吉本
中央左より 高橋、新久、今田、園山
左下より 佐藤、上野、西原、七田

令和元年度 事業報告

研修事業

「フィジカルアセスメント～急変時の患者のみかたと対応～」

講師 広島ハートセンター救急看護認定看護師 越道 香織先生 | 日時/令和元年7月6日(土) 場所/草津病院 参加者/29名



7月6日(土)に草津病院にて救急看護認定看護師の越道香織先生を講師により「フィジカルアセスメント～急変時の患者のみかたと対応～」の研修会を行いました。29名もの参加があり、研修後のアンケートでは「事例を通してイメージしながら学ぶことができました」など沢山の意見が寄せられ大変な盛会となりました。



教育担当 村田 佳代子

社会経済福祉研修会

「コミュニケーションは共同作業」 ～コミュニケーションでつまずきやすいポイントを考える～

講師 ティーエスアルフレッサ株式会社CS推進部 平儀野 真紀先生 | 日時/令和元年9月14日(土) 場所/原田病院 参加者/27名

1対1のペアワークという形で、コミュニケーションでつまずきやすいポイントについて、具体的に学べる研修でした。参加者の方のアンケートでも、「どのような場面で相手に不快感を与えやすいか」「どんなところに注意したら良いか」など、日頃の業務に直ぐにでも活かせる内容だったというコメントを多く頂くことが出来、大変好評でした。



社経担当 七田 祐子



関連職種地域連携事業

「佐伯区市民公開講座」

講師 安藤 和津先生 | 日時/令和元年10月27日(日) 場所/佐伯区民文化センター 参加者/560名

冒頭で、認知症初期集中支援事業について、ナカムラ病院中村友美医師から紹介があり、特別講演は「明日を素敵に生きるには～介護体験を通して～」と題して、タレントの安藤和津さんより講演がありました。実母の介護・ご自身の介護うつの体験談は、多くの知恵と勇気を頂けるお話でした。最初から最後まで参加者を引き込む力は見事で、560名と多くの方に参加者して頂き大盛況に終わりました。

副支部長 中村 智子



組織強化研修

「認知症患者の食事支援～食べられない人への食事介助のポイント～」

講師 草津病院認定看護師 多田 茂伸先生 | 日時/令和元年11月2日(土) 場所/草津病院 参加者/30名



「資料や動画があり、イメージしやすくとでも分かりやすかった。」「実際にゼリーを摂取し、体験しながら学ぶことで嚥下のメカニズムがよく分かった。」等の声があがり、とても好評でした。患者様の食べられない原因を探し、工夫していく事や、ひとりひとりに合った対応を考える事の大切さを学ぶことが出来ました。

教育担当 佐藤 香里

地域看護事業

「まちの保健室・イベント型」西区民まつり

日時/令和元年11月3日(日) 場所/西部埋立第5公園 参加者/82名



まちの保健室では、血圧測定 体脂肪、内臓脂肪率、BMIの測定を行ないました。測定後は、主に誤嚥性肺炎のパンフレットを使用し60名の方に口腔ケアの大切さを説明しました。皆さん熱心に耳を傾けられ、「家に帰って母に、パンフレットを見せませう」と、ご高齢のご家族への関心が寄せられていました。

副支部長 吉本 智子

研究事業

「研究サポート」・「看護研究発表会」

講師 日本赤十字広島看護大学 服部 智子先生

日時／令和2年2月8日(土) 場所／原田病院
参加者／70名

本年度も看護研究サポートおよび看護研究発表会を実施いたしました。

日本赤十字広島看護大学の服部智子先生のご指導のもと6月よりスタートしたサポートは、多くの時間を費やして何度も壁にぶつかりながら、そして服部先生に励まされながらまとめ上げたと聞いています。また発表会当日は、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されるなか、サポート3施設を含む計9施設の発表がありました。参加者は各施設の素晴らしい発表を聞き、まなびを深めるとともに、看護研究の必要性を再認識していました。

来年度はぜひ皆様の施設でも看護研究に取り組んでみてください。広島西支部でのサポートのご希望もお待ちしております。

教育担当 杉川 雅美



令和2年度 事業計画

《7月1日現在の事業計画です。新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて中止又は延期になる場合があります》

■ 研修事業

- 1.教育研修会 7月4日(土)「フィジカルアセスメント研修会」中止
- 2.感染管理研修会(連盟共催) 11月21日(土)
- 3.社会経済福祉に関する研修会 9月 中止

■ 研究事業

看護研究発表会 令和3年2月予定

■ 地域看護事業

まちの保健室

- 常設型／毎月第3水曜日 本年度中止
- イベント型／西区民まつり 11月 中止
佐伯区民まつり 11月8日(日) 中止

■ 関連職種地域連携事業

地域連携推進会議

- 西区子育て支援ネットワーク会議 6月 中止
- 西区-佐伯区地域保健対策協議会 中止
- 佐伯区常設親子交流の場運営協議会 中止

佐伯区市民公開講座 10月25日(日) 佐伯区民センター

■ 看護広報事業

- 進路相談会 5月 中止
- 支部会報の発行 8月1日(土)



新型コロナウイルスのパンデミックにより、今年予定されていた東京オリンピック・パラリンピックも延期を余儀なくされ、国民一人ひとりがあらゆる活動を自粛し感染拡大の抑制に努めました。来年こそはオリンピック・パラリンピックをはじめとする多くのイベントを思い切り楽しめる年にしたいですね。「樹」へのご意見ご感想をお待ちしております。

[発行日] 令和2年8月1日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 広島西支部事務所
〒733-0842 広島市西区井口2-5-23 ファインハイム201
TEL/FAX:082-279-6444 E-mail: s-nishi@nurse-hiroshima.or.jp

[発行責任者] 奥平 敦子